

PARTNER

PARTNER

2013.10.16 発行

No. 35

主な内容

- 共に生きる
- 今後のイベント情報
- ワーク・ライフ・バランス入門編
- 気づいてください STOP DV
- 相談機関のご案内

発行 はだの市民が創る男女共同社会推進会議

事務局 秦野市役所くらし安心部人権推進課
秦野市桜町 1-3-2 TEL.0463-82-7618 FAX.0463-82-6793

E-mail jinken@city.hadano.kanagawa.jp

共に生きる

お互いを認めあう大切さ

はだの市民が創る男女共同社会推進会議二十周年記念事業より

はだの市民が創る男女共同社会推進会議設立二十周年を記念し、平成25年6月22日、秦野市文化会館小ホールで、「男女共同社会フォーラム2013」を開催しました。

講師は、歌とハープの田中ゆかさんとパーカッションの伊藤ひろしさん。性別や年齢、経歴、そして扱う楽器も異なる二人によるトーク&コンサートの中心から、人間が共に生きるこのエッセンスをお届けします。



歌とハープを奏でる田中さん

出会いには縁がある

「私たち、「縁」がありますね。」

初めに、田中さんは、観客の皆さんに出会えたことへの感謝の思いを伝えられました。もしかしたら、一回きりの出会いになるかもしれないけれど、この日この会場に来なかったら、出会わなかったわけだから、出会いには縁があるのだと。

そして、「口頭から、

人との縁を大切にすることが大事。そして多くの人の縁を素晴らしい縁に変えていくことが大切だね」と。



違いから生まれる調和

私たちは、一人ひとり個性を持った人間です。たとえば、田中さんと伊藤さん。性別、年齢、世代、出身地：育ってきた環境や考え方も違います。

そして、演奏する楽器も。

ハープ（狩猟用の弓に起源を持つ弦楽器）と、ジャンベ（西アフリカでお祭りや儀式に使用される太鼓、打楽器。「合うように思いませんか」と、田中さんは笑っていました。

コンビを組んで14年。縁の深い二人ですが、もちろんケンカもするし、思うように合わないことだってあるといえます。



ジャンベを叩く伊藤さん



ジャンベのリズムに乗せてハープが奏でられる

共に生きるということ

でも、そこで止まってしまったら、何も始まりません。音楽だって生まれてきません。ジャンベのリズムに乗せて、ハープが奏でられると…一見合うように思えない、違うジャンルの楽器から生まれたのは、オリジナルの響きを持つ、美しいハーモニーでした。

二人が心がけていることは、「どのような人も命によって生かされていることを認め、信じる」こと。すると、音楽のように、違いを認めながらも調和した方向に進んでいくことができます。

人間はみんな、それぞれの環境や立場があって、抱えている仕事も、果たすべき役割も違います。しかし、オーケストラが美しいハーモニーを生み出すように、個性が調和することによってこそ、豊かな社会は生まれてくるのです。

誰も血液の流れを操ることができないように、命によって生かされていることはみんな同じです。そこに若者男女の差はありません。命の輝きに目を向け、お互いを認め合える社会にしていきたいです。

幸せな人生を歩むために

男女共同参画社会の実現に向けて

男女共同参画社会とは、家庭や地域、職場など、あらゆる場面に男女がともに参画できることを目指しています。

では、女性と男性が共に生きていくために、日々の生活の中で大切にしたいことは何でしょうか。

フォーラムに寄せられた感想の一部をご紹介します。

◆「ありがとう」という言葉が言える毎日を送ること。笑いがあることは幸せなことです。

◆どのような環境にあっても相手の存在を認めることが第一歩。

◆話し合い。

◆親しき仲にも礼儀あり。

◆お互いに干渉しない。

◆心から助け合い、思いやる。

◆お互いが尊重しあい、足りない所を補いあうこと。無理をせず、楽しむ気持ちを忘れずに。…などなど

ホッと一息

忙しい日々を追われていると、つい自分をいたわることが忘れてしまいがち。でも、人を思いやり、やさしく接することができるのは、自分の心につるおいがあってこそ。

時には、コンサートや映画館に足を運んだり、美術館で好きな絵を眺めたり…そんな心のケアも大切にしていきたいですね。

